

熊伏山山行記

日本 300 名山登頂

2020 年 11 月 29 日

ハンブルクの星（単独）

2020 年 11 月 29 日（日）

南信州の熊伏山に登頂した。登山口までの交通ルートは本来であれば、一路 R152 を北上すればいいのだが、土砂崩れで一部区間が閉鎖されており、迂回路として三遠南信道で鳳来峡 IC で降りてから、R151 を飯田方面へ。東栄 IC から入って、佐久間川合 IC で降りる。R473 で水窪方面へ。水窪手前から R152 に入って水窪市街を通過して、更に北上。青崩峠方面への林道を行き、塩の道の道標のある駐車場に到着。既に 5 台ほど。



青崩峠

青崩峠から青崩の頭までが結構急な登りだが、ほぼずっと右手（北東）側に冠雪の聖岳、赤石岳が遠望出来る、気持ちのいいコース。山頂からは南東にかけて大無限山、黒法師岳、不動岳の山並みや北東には茶臼岳、聖岳、赤石岳の峰々が望める。



冠雪の聖岳、赤石岳

熊伏山の山名由来は「熊も険しい崖に寄り付かないほどの山」から来ているそう。ホントかな？そういえば登山口によくある「熊注意！」等の看板は無かつ

たので（代わりに「ヒル注意！」というのはあったけれど）熊も敬遠しているのかなと勝手に思い込んだ次第。山行中、幸いにも熊には遭遇しなかった。



山頂

青崩峠は約 450 年前に武田信玄が遠州浜松攻めの折に 2 万 7 千の大軍勢を率いた折に通った峠で塩の道（旧秋葉街道）の石畳は何とも風情満点。

そこには「信玄公の腰掛岩」というのもあって、歴史ロマン溢れる山行を楽しめた 1 日だった。下山後、登山口からすぐのところにある足神神社に立ち寄って今後の登山の足腰の無事を祈って参詣しました。



信玄公の腰掛岩

【行程】

- 6 : 30 浜松出発
- 8 : 30 熊伏山登山口駐車場到着。
- 8 : 45 登山口スタート。
- 9 : 00 青崩峠
- 9 : 30 青崩れの頭
- 10 : 20 前熊伏分岐
- 10:40~11:30 熊伏山山頂 (1,653m)
- 13 : 00 熊伏山登山口駐車場戻る
- 13 : 30 足神神社参詣
- 16 : 00 浜松帰宅